

明るく快適な住空間
創造のお手伝い



会社案内
Corporate Profile

 長野板販株式会社

ガラス建材部

窓・ガラスのプロとして寒い信州の冬に負けない窓・ガラスを中心に様々な建設資材の販売・施工をおこなっています。

日本板硝子(株)・(株)LIXIL・YKKAP(株)の代理店として、長野県内様々な建設現場に納入しています。他にもキッチン・洗面台等、家に関わる商品を多数取扱っています。



配達

確かな商品の配達をおこないます。



施工

ガラスの取り付け工事をおこないます。



発注業務

お客様からの注文をメーカーに正確に発注します。



持続可能性の高い窓や建設資材を供給し、建設文化の向上へつなげ社会に貢献します

樹脂部

住宅・店舗・公共施設等の景観・演出に使われる資材の販売をしています。

広告代理店さま、看板施工店さま、プラスチック加工店さまに樹脂板、装飾用シート、LED照明、金属製品の資材を販売しています。幅広い仕入先の代理店として商品の橋渡し役を担っており、適材適所に効率のよい商品の提案をおこなっています。



配達

お客さまに確かな商品の配達を短納期で納品します。



加工

樹脂板の加工をします。弊社でできないものは加工店さま、メーカーに依頼します。



受発注・見積り

お客様からの注文を仕入先に正確に発注します。見積りは分かりやすく、時間をかけずにおこないます。

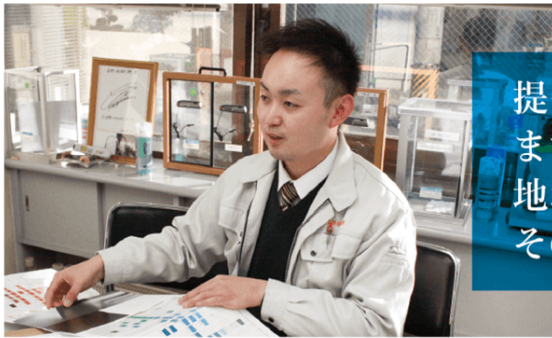


樹脂部
神津 大 こうぶだい

1992年生まれ。千曲市出身。信州短期大学総合ビジネス学部卒業。2013年4月入社。研修を兼ね自社配送センターでサッシ組立・配送作業に従事後、本社樹脂部に配属。同部署の営業として建築資材の提案・販売を行っている。

わが社のココがPOINT

- 真空ガラス「スペース」取扱認定店
- ガラス、サッシの販売を通して、安心、安全で快適な住空間づくりのお手伝いをしています
- 協働の精神、チームワークを大切にしています



提供した素材が、
まちの建物に
地域社会に貢献—
その実感が湧いてくる

いまいの会社を選んだ理由は。

人と接する仕事を通して地域社会に貢献したい、生まれ育った信州で仕事をしたい、その2つに重点を置いて就活をする中で、当社に出会いました。人々の生活に欠かせない住宅の建築資材、地域経済の発展に貢献する看板資材を通して地域社会に貢献している。社長から直接、会社の理念や強い意志を聞くことができて、ぜひ自分も一緒に仕事をしたいと思い入社を志望しました。

どんな仕事をしていますか。

樹脂部で広告代理店さまや看板施工店さま向けに樹脂版(アクリル板、ポリカーボネイト板)、装飾用シート(カッティングシート)、LED照明などの看板資材を卸売りしています。要望次第では什器(じゅうき)類や演出用の特注品など、実際扱う商品の幅は広く、種類を挙げたら数え切れません。新商品も次々と出てくるので、日々勉強です。

どんなやりがいを感じていますか。

当社は代理店や施工店と、メーカーとの間の橋渡し役。たとえばLED照明でも、メーカーは複数ありますから、お客さまのニーズにぴったり合った商品を提案できて感謝されるとやはりうれしいです。また、自分が販売

した資材をまちなかの建物の中に発見し、お客さんの目に留まり、日常に溶け込んでいるのを見るとモチベーションが上がりますね。提供した素材が意外な方法でディスプレイされていたり、「こんなふうに使われるのか」と一つ一つ勉強になります。うれしいというより感動に近いですね。目標は「長野板販の神津さんだったら、できるだろう」と、頼りにされる営業になること。提案力を磨いていきたいです。

休日はどのように過ごしていますか。

カメラが趣味の友人の影響で自分も一眼レフを買い、その友人と一緒に県内各地の山へ行ったり風景を撮影したりしています。季節ごと、その場所にしかない魅力に出会いたくて、ほぼ毎週出掛けていますね。信州は個人経営のコーヒー店や軽食店も多く、そういう店をめぐってはマスターにおすすめの絶景スポットを聞くことも。最近だと、霧ヶ峰の「ころぼくるひゅって」という小さな山小屋がとても良かったです。コーヒーにもこだわりを持っているし、テラス席から一望できる景色にカメラから手が放せませんでした。そんな趣味を兼ねながら、出掛け先で寄ったお店で「あ、当社のものだ!」と思わぬ発見があったりするのもうれしいです。



私たちは小さなできた！をつみあげて
社会に貢献する明るい企業を目指します。

会社概要

設立 1965年(昭和40年)9月
資本金 5,400万円
売上高 11億5千万円(平成30年実績)
代表取締役 鶴田慎司
従業員数 約45名
所在地 本社/松本営業所/佐久営業所



本社



松本営業所



佐久営業所



配送センター

沿革

- 1923年(大正12年)5月 須坂市本上町に創業。
- 1950年(昭和25年)9月 資本金200万円の鶴田硝子株式会社に組織変更し、本社を長野市西町に移し、須坂市本上町店を支店とする。
- 1965年(昭和40年)9月 不動産管理を鶴田硝子(株)に、板硝子部門を長野板販(株)に、サッシ部門を鶴田建材工業(株)に、樹脂建材部門を(株)ツル田に独立させた。各社の資本金は100万円とし、独立採算制の営業を開始。
- 1976年(昭和51年)4月 松本営業所開設。
- 1979年(昭和54年)9月 長野板販(株)に鶴田建材工業(株)と(株)ツル田を吸収合併する。
- 1989年(平成元年) 小諸営業所開設。
- 2007年(平成19年)4月 物流センターを綿内板硝子流通ターミナル内に統合移転した。
- 5月 鶴田硝子(株)を吸収合併する。
- 2011年(平成23年)3月 佐久営業所を開設し小諸営業所閉鎖。
- 2019年(令和元年)11月 本社を若穂配送センターに移転。
- 2020年(令和2年)2月 第3期長野県SDGs推進企業として認定を受ける。





本 社 〒381-0101 長野県長野市若穂綿内407-1
☎0120-113-473 FAX.026-266-5002

松本営業所 〒399-0006 松本市野溝西1-2-22
TEL.0263-26-5747 FAX.0263-26-7643

佐久営業所 〒385-0028 佐久市佐久平駅東6-1 クリスタルビル202号
TEL.0267-78-5450 FAX.0267-78-5452